

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立高松農業高等学校		
実践者等	山田祐理子	実践日	令和3年4月28日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	地理歴史・地理A		
対象生徒(学年等)	農業科学科2学年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	緯度と経度		
使用したアプリ等	Classroom		
実践の概要(ねらい等)	Classroomでの動画・HPの配信により、経度・緯度に関する理解を深める。		
実践の内容			
<p>1 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒貸出用端末(Chromebook)を1人(又は2人)に1台を配付 ・生徒は各自のIDでログイン ・Classroomの「地理A」を立ち上げる。 ・併せて本時のめあてを確認する <p>2 展開</p> <p>(1) 緯度による「気候」の違い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地球の緯度の違いから何が違うか？」を発問し、季節の違いに着目させる。 ・南半球のオーストラリアと日本との季節にどれくらい違いがあるかを考えさせる。 ・Chromebookを使用して、各自(グループ)で「オーストラリア・クリスマス」とのキーワードで検索させる。 ・各自で「サンタクロースがサーフィンでやってくる様子」等を見ながら違いを確認し、その理由を考えさせる。 <p>(2) 緯度による「気候」以外の違い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度により、日照時間や太陽高度が異なることに着目させ、Classroomにて動画を配信してその動きを確認させる。併せて、白夜と極夜、オーロラの動画視聴を通して学習させる。 <p>(3) 経度の違いによる時間差</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球1周÷24時間から1時間が15°との計算を行った後、端末の画面で時差を色分けした地図を確認し、国による違いに気づかせる。併せて、標準時・標準時子午線・サマータイム等について考えさせる。 <p>3 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを行い、時差の計算についての学習プリントを配付 <p>☆1人1台端末を使用することで、同じ映像でも自分自身が操作して映し出すことで、「見せられる」という受動的な学習から、「観る」という能動的な学習につながった。また、映し出された動画を隣同士で指さしながら確認していくことにより「協働学習」につながった。</p>			
参考となるHP等			

